**「人生会議（ACP：Advance care planning愛称）」
の体験を語り合うケアカフェ**

主発表者：鈴木裕子　和洋女子大学看護学部（在宅看護学）

【目的】

人生会議開催の体験を語り合い、情報交換や意見交換を通して緩やかに学び合う

【背景】

わが国は急速に少子高齢多死社会の状況にある。“2025年問題”と言われる「看取り難民」と報道されるほど逼迫した状況にある。保健医療福祉に関わる人材不足も深刻である。2000年に介護保険法が施行され地域包括ケアシステムが推進されてきた。中でも、地域緩和ケアネットワークモデル（WHO,2007）の提言にある、緩和ケアの推進に則った、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の愛称である「人生会議」への取組みが推奨されている。

【ワークショップのプログラム】

1．大学在宅看護学領域における研究活動、主に「人生会議」についての実践報告（20分）。
2．参加者と「人生会議」について、情報や意見の交換を行う。経験者からは経験談や参考意見を語って頂き、始めたい人にも、疑問や思いを語って頂けるようにする。参加した人が、役立つ情報を得て、緩やかに語り合えるように運営する（60分）。そして、今後、「人生会議」を開催するきっかけになったり、効果的な実践方法や、開催プログラムの参考になるようにする。

【倫理的配慮】

個人情報を保護し、参加者が意見交換しやすい様に公平な運営を行う。